

2013 関東パークツアー in 七ツ洞公園 2014年2月8日 茨城県水戸市

天気予報では大雪となっている大会当日の午前3時、まだ、雪は降っていない。空を見上げると星が全く見えない。やはり、降るのか。今日ばかりは、そうやって欲しくない。午前5時、ついにパラパラと降ってきた。大会ホームページに、常磐道が通行止にならない限り決行する旨を書き込んで出発する。自宅から会場まで、通常だと30分位だが、今日は茨城大の協力者との待ち合わせがあったため、60分程早く出発した。そして、時間が経過すると共に、雪の降る勢いは徐々に増して、とうとう道路に積もりだした。夜は明けたばかりだった。

会場は真っ白

会場周辺は、普段でも、車通りが少ない、まして、土曜日、早朝、大雪となるとほとんど通らないと予測できる(つまり、道路上の雪は溶けない)。車は、4WDであるが、タイヤはノーマルだ。はたして、無事、行き着けるのだろうか。他のスタッフは来られるのだろうか等と、不安がよぎる。

協力者を待ち合わせ場所に乗せ、7:30頃に会場に到着。そこは、今まで見てきた光景と全く違う様子であった。枯れた芝生で黄金色であった広場が、真っ白な雪原と様変わりしていた。

到着出来たのはいいが、この状態で大会を開いて、果たして安全が確保で

きるのか。参加者は来られるのだろうか。運営上の問題はないのだろうかと頭に浮ぶ。スタッフは、協力者を含め9人、資材は、最低限ものは揃っている。だが、どうすべきか判断がなかなかできない。状況を考えると、中止してもおかしくない。でも、気持ちは、決行の方であった。そして、こんな天気にも関わらず、集合したスタッフの顔は、いつも通りの顔になっていた。その直後、その一人が言った「やりましょう！」の一言で、決行が決まった。

参加者がやって来た

決行とはしたものの、果して参加者は来るのだろうか、会場設営・設置し、試走して終わってしまうのではないかと頭がよぎる。でも、今日、それでも良いと覚悟を決める。初めてのEMITを使用した運営だし、その訓練だけでも価値があると言いつけて聞かせるうちに、コントロール設置を終える。

続いて、設営準備だ。今回も、青空会場なので、傘・蓑を凌ぐ建物や軒下はない。全て、手持ちの資材で対処する必要がある。受付用テント、ゴール用テント、荷物置場テント、更衣所テントを慣れた手つきで次々と設営していく。そして、いつの間にか、水戸駅からのバスを使ったルートでの到着時刻になっていた。参加者は、設営準備でスタッフがおおわらわの状況なときに、何気なく到着した。本当に来るなんて、

感動する余裕もなかった。というより、参加者が来ることなど、完全に忘れていた。とにかく、慣れない雪の中での設営は、寒さとの戦いでもあった。



参加者に感謝

さて、準備が終われば、いつもの通り、参加者をスタートさせる。スタート地区は、予定通りに会場内に設置。今日は、スタート幕や掲示時計がないので、スタートユニットを挿しただけ。

午前11:01、競技開始。20分の間に、3名の方が出発していった。





関東パークツアーin七ッ洞公園		S1	●		
▷	S1	⊗			
	31	⊗			
	32	⊗			
	33	⊗			
	34	⊗			
	35	⊗			
	36	⊗			
	37	⊗			
	38	⊗			
	39	⊗			
	40	⊗			
	41	⊗			
	42	⊗			
	43	⊗			
	44	⊗			
	45	⊗			
	46	⊗			
	48	⊗			
	49	⊗			
	50	⊗			

縮尺 1:4,000
等高線間隔 2.5m

茨城県水戸市
七ッ洞公園

OCAD

Lクラスのコースは、距離が2.55Km、半分以上が森林のコースとなっている。いかんせん、半分以上が湖で、高低差はあまりなく、けて広いとは言えない公園なので、この距離を捻出するのが精一杯である。



さて、そろそろゴールしてもおかしくない時間だが、一向に現れる気配がない。一体、どうしたのだろう。と思っいたら、ラストコントロールの方向より現れた。急いで、ゴールに配置し、Eカード読み取りに備える。44分、まあ、想定内の時間かな。そして、次のゴールを待っていると、新たな参加者がやって来た。ありがたい。感謝である。3人であつという間に終わったのが、もう少し楽しめる。

全員、無事ゴール。そんなこんなで、無事終了しました。今回、関東パークツアーとして、このような状況で開催することになったのは、残念でしたが、まだ、十分準備ができてなかつたなら、と受け止め、再挑戦します。その際は、今回の地図とコースは、一部で好評のこともあって、そのまま使う予定です。乞うご期待下さい。



(黒羽和之)